

令和5年度 墨田区立第三寺島小学校 経営報告書

校長名 関口 亮治

学 校 目 標	○じょうぶな体をつくる子 ○おたがいを大切にする子	○進んで学ぶ子 ○人のために働ける子
目指す学校像	「子供が主役」の学校づくり	
目指す子供像	○じょうぶな体をつくる子 → 運動が好きになる 健康のために自己管理ができる 自他の生命を大切にする ○進んで学ぶ子 → 分かる、できる、定着する、楽しい授業等を通して、主体的に生き生きと活動する ○おたがいを大切にする → いじめ・暴力を許さない 思いやり、勇気を育む ○人のために働ける子 → 他の幸せを自分の喜びにできる 仲間と共に助け合える	
目指す教師像	○保護者と共に、児童の成長を喜び合う。明るさ温かさを根底にしなが、指導すべき点は明確に伝わり、身に付くよう温かく寄り添って指導する。(体罰・暴言はあってはならない。) ○子供の思いを受け止め、勇気づける指導を進める。 ○特別支援教育への理解を進め、一人一人の良さを伸ばし、分かる・できる・考える喜びのある授業・教育活動を追求し、日々研究・研修に努める。 ○保護者・地域と温かい関係を築き、共によりよい学習環境・居場所を創造する。 ○いじめを絶対に許さず、偏見や差別をなくす人権尊重教育を徹底する。(呼名・言葉遣い) ○教師自身が児童の手本となる。(率先垂範、凡事徹底、明るく温かく笑顔で)	

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	取組目標	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況		自己評価について	改善策について	
		取組指標	成果指標			
各教科等指導等	○確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施する。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を進める。 ②分かる・できる・定着する・楽しい授業を展開する。	3	3	○校内研究の取組を通して、各学年、単元計画づくり、対話的な授業づくり、振り返りの工夫をし、授業改善を行うことができた。 ・明確な発問・指示等、知的に楽しい授業の展開を工夫するとともに、教科担任制や交換授業に取り組み、授業改善を一層深めていく。	A	A
	○特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援を行う。 ①校内委員会の充実を図り、組織的に見通しをもった指導・支援を行う。	4	3	○定期的な校内委員会だけでなく、適宜必要な時に委員会を開き、情報共有、共通理解に基づいて体制を組み、支援を進めた。 ・研修等を通して、児童理解を深めたり、指導の手だてを学んだりし、個に応じた指導の充実に一層努める。	A	A
	○社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。 ①地域及び外部人材を招いての授業や異学年交流を通して、児童が自己肯定感を高め、将来の希望をもつ。	3	3	○異学年との交流や併設幼稚園、地域保育園等との連携を進め、児童の自信を育む機会にすることができた。 ○外部人材による授業による、体験の機会を増やし、児童の学ぶ意欲を高めることができた。 ・交流や連携の仕方を工夫し、児童の自己肯定感や意欲を高める機会を増やす。	A	A

様式 4

○教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。 ①学習指導力等向上のための研修会「三寺未来塾」を行う。	3	2	○アレルギー対応等のリスクマネジメント、学習指導力向上、ICT活用促進等のテーマで研修を実施し、指導力向上を図った。 ・教員の指導力向上を図る研修を一層計画的に進める必要がある。	A	A
学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	・最も楽しかった学習や伸びたこと等、児童の声を大切にして、これから求められる資質・能力を学校は育ててほしい。				

項目	取組目標	自己評価			学校関係者評価	
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
生活指導等	○いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。 ①いじめの早期発見、早期解決に取り組む。いじめ、不登校の未然防止のための指導の充実を図る。	3	3	○いじめ防止授業、地域公開講座等、未然防止の取組を計画的に行うとともに、校内での情報共有、共通理解を組織的に行い、早期発見、解決に努めた。 ・改訂生徒指導提要の内容の理解と活用を進める等、未然防止のための指導を充実させる。	A	A
	○基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。 ①望ましい生活行動を設定し、基本的な生活習慣の定着を図る。 ②道徳授業の充実を図り、心の教育を推進する。	3	2	○望ましい生活習慣の定着のために、「三寺あいことば」を活用したり、各月の生活目標から週目標を設定したりして取り組んだ。 ○道徳授業地区公開講座で取組を公開したり、毎週の道徳授業の充実を努めたりした。 ・挨拶など、望ましい生活習慣の定着のために手だてを講じる。	A	A
	○危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。 ①安心・安全の知識、実践力を身に付ける取組を充実させる。	3	2	○毎月の避難訓練では、災害に備えて改善を重ねて実施した。関係機関と連携したセーフティ教室や安全指導を計画的に実施した。 ・身体的な安全だけでなく、心理的な安心・安全を児童に保障することができるように取組を進める。	A	A
	学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	・登校方法の変更について、安否確認の徹底や安全教育を生かして、児童の安全面を確保した取組として進めてほしい。				

項目	取組目標	自己評価			学校関係者評価	
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
学校の管理運営	○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。 ①各教員が学校経営方針に基づいた目標設定をし、教育課程に基づいて学校運営を行う。	3	3	○教員一人一人が学校経営方針に基づいて目標を設定して学校運営に参画し、教育課程の適切な進行管理に努めた。 ・明確な学校経営のビジョンを示し、「子供が主役」の学校づくりを推進する。	A	A
	○子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。 ①適正なPDCAサイクルに基づいて学校運営を行う。	3	3	○学習状況調査について、2月に校内で確認テストを行い、次年度の学習指導につなげる取組を行った。 ・次年度も適正なPDCAサイクルに基づいて、評価を生かした学校運営の改善に努める。	A	A
	○適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。 ①安心・安全を第一に考えた環境整備を行う。	3	3	○9・5周年行事等、その時期に合わせて掲示物等の環境整備に努めた。 ・児童の安心・安全を一層保障できるように教育環境を整えていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	・児童へのアンケート内容を工夫するなど、評価に基づいた学校運営のPDCAサイクルを確立し、学校の特色ある教育活動の指標を明確にしていってほしい。				

様式 4

項目	取組目標	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況		○分析 ・ 改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
家庭・地域連携	○教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。 ①情報発信の仕方を工夫するとともに回数を増やす。	3	3	○学校公開を中心に日常の教育活動の様子を伝え、その都度評価を受けながら、学校運営の改善を行った。 ・COCOO を活用して、電子媒体による配布物の発信を行った。評価を受け、改善しながら次年度も進める。ホームページによる発信の充実を図る。	A	A
	○保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。 ①保護者、地域が参画する授業、連携する授業の充実を図る。	4	3	○9 5 周年記念行事や校内研究の取組を中心に、保護者、地域が参画する授業、連携する授業を各学年で実施し、児童が地域への理解を深めることができた。	A	A
	学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	・9 5 周年記念式典や運動会等の行事での児童の姿がすばらしい。これからのよりよい成長に期待している。				

2 令和5年度学校評価のまとめ

<ul style="list-style-type: none"> ・開校9 5 周年記念行事や校内研究の取組を中心として、地域の学校としての教育活動を進めることができた。地域にある学習材を探し、保護者、地域の方、関係機関と連携して学習を行った結果、児童の主体的な姿が多く見られた。 ・「子供が主役」の学校づくりの実現を目指し、次の点を重点に次年度の学校運営を進める。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 子供たちの学力向上を保障すること <ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識・技能等だけでなく、主体的に課題を周囲と協働して解決していく資質・能力を育んでいくこと。 (2) 子供たちの安全・安心を保障すること <ul style="list-style-type: none"> 子供たちが安心して過ごせる居場所としての役割を果たすこと。

以上の通り報告いたします。

墨田区立第三寺島小学校 校長 関口 亮治 公印